

高塚の中間処理場に野積みされた大量廃プラの環境面への危険性は

翔政クラブ 木村 文彦 議員

答 県の調査に基づき 検査点検の上、指導を



野積みされた廢プラスチック



木村 六月一日に、文教厚生常任委員会で管内視察を行った。十一カ所のある廢プラスチックの中間処理場（業務委託）で、

当然、委託処理を完了しているはずの廢プラスチック、推定百トン以上が野積み状態にあった。年間一億二千万円で業務委託され、委託料は支払い済みの業務が、なぜどこおり、野積み状態にあるのか。また、現在の状況で環境面や自然発火する危険性を、市はどのように認識しているのか。

市民環境部長 野積みされた廢プラスチックが地

環境に与える影響については、県の担当課が調査に入っている。

結果としては、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」による水質汚濁等につながる状況ではないとの確認をしているが、今後県とも協議し、毎月の検査点検項目に掲げチェックすることとする。

自然発火の認識については、山積みされている廢プラスチックは、小松島市火災予防条例に基づき届け出なければならぬとのこと。速やかに指導したい。

同所土地転売の 差益発生の事実

木村 小松島市と小松島リサイクルセンター（廢プラスチック委託業者）の土地譲渡に関する問題で、昭和五十八年から平成五年までの十五年間で四度転売を市とリサイクルセンターとの間で繰り返し、最終、土地の差益が六千万円にも上る資料



中間処理場を視察する市議団

がある。

当初、リサイクルセンター関係者の所有する土地が、平方メートル当たり七千五百八十円であったのが、転売を繰り返すうちに最終二万四千四百円にまで跳ね上がっている。この土地の総面積に計算すると六千万円を超える差益を生んでいるが、過去にこのような取り引きが事実行われたのか。

市長 過去のことであるので、当時の市長・助

役・部長・収入役等々あたりも関係すると思うが、いろいろな考え方もあってこのような結果になったと思う。詳細については私どもにはわからないのでお答えできない。

木村 昨年のし尿処理の問題、今回の廢プラスチックの問題、やはりチェック機能やきちっとした業務終了報告を確認していただき、一円でもむだのない小松島市を目指してほしい。

小松島～佐那河内線の 交通安全対策は

みらいの会 北野 恒男 議員

答 県道北側に歩道を新設予定



児安小学校前県道



北野 通学路となつてい

るこの県道は、道路幅が狭い上、分離した歩道がない。片側一車線、県道と市道が交わる信号機のない危険な交差点がたくさんあり、以前より安全対策を強く求めてきたが、効果的な対策がなされていない。この危険な道路において、今年二月、続いて五月、春の全国交通安全運動の期間中、わずか三カ月の短期間において死亡事故が二度発生している。大型車などの交通量が大変多く、交通環境の厳しい道路、地域の交通安全の指導、教育及び、歩道の新設計画と現

在までの進捗状況は。また、歩道を設置するためには、約四〇戸の家屋の移転を要する。地元より野上橋からバイパス道路の新設の強い要望がある。県に要望を。

産業建設部長 歩行者の安全を確保するため、県

道の北側に三・五メートルの歩道を新設する予定。計画区間は、東は国道五十五号との交差点から、西は勝浦川堤防までの間二千二百メートル。地元がまとまり次第、また、説明会は事業化が決まれば県に要望する。地元からのバイパス新設要請は、市から県の担当者に伝える。

市民環境部長 教育委員

会、各種団体の協力により、ドライバーに交通安全のキャンペーン、保育所、幼稚園、小学校の新入児に交通安全教室、お年寄りには交通安全教育指導員が出向いて事故の防止に努めている。

勝浦川堤防の 防災対策は

北野 野上橋の下流は、

三十余年前に、堤防を川の外側に移動させて断面を広げる対策ができていたが、勝浦川で一番危険箇所と思われる野上橋から上流、井口までの間の対策ができていない。六十年くらい前に堤防の上に石積みして高くしただけで、急勾配の暫定堤防で現在に至っている。

産業建設部長 継続事業

の上流の工事については、田浦堰改築工事の計画に合わせて、防災計画、漏水対策を検討している。抜本的な改修については、県に要望する。



平成16年10月20日台風23号による市内浸水
(市ハザードマップより)

平成十六年の台風二十三号の襲来時に堤防から漏

小・中学校にAED (自動体外式除細動器)の設置を

公明党 大木 進 議員

答 中学校より早期設置に努力

大木 先月、大阪市内の私立高校のグラウンドで、野球大会中、打球が左胸下を直撃したが、ちょうど観戦に来ていた救急救命士が心肺蘇生法を実施し、さらに学校に設置されていたAEDを使って、心臓に電気ショックを与え、心拍が戻った。また、西条市の中学クラス対抗サッカー大会で、胸でボールを受けた三年生徒が心肺停止状態となり、九日後に心不全で死亡した。

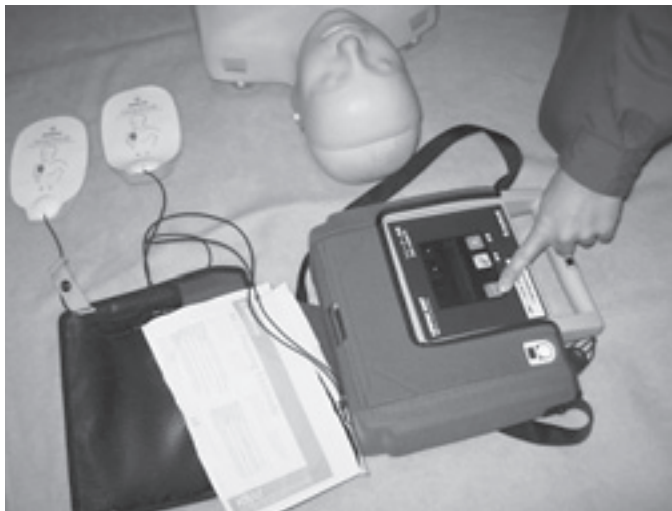
その中学校にはAEDがなかった。県内の設置状況と本市の設置状況は。
教育次長 徳島県内の高校においても、生徒が突

然心肺停止状態に陥ったが、AEDの設置ができていたので救えた。設置状況は、県立高校四十七校は全校設置済みで、中学校では九十校のうち五十二校が設置しており、四校が設置予定で、小学校では二百二十校のうち設置は十五校である。市内の設置状況は、市役所、ミリカホール、市立体育館、消防本部、競輪選手会の合計五カ所である。

大木 県内の県立高校はすべてに設置され、小・中学においてもかなり設置している。本市の小・中学校にも設置すべきで



はないか。
市長 市全体計画の中で十分に検討をし、まず



AED 本体

は中学校にできるだけ早期に設置できるよう、努力していきたい。

高額療養費現物給付制度と高額療養費委任払い制度との違いは、

大木 高額療養費現物給付制度について、今までの高額療養費委任払い制度との違いと、四月以降の利用状況は。

保健福祉部長 高額療養費委任払制度は、原則、毎月の申請が必要で、入



ダミーによる AED 使用方法

院もしくは入院することが決まっていることが条件であるが、高額療養費現物給付制度では、一度窓口で申請し、交付されれば、当該年度期間中は毎月の申請を必要としないことと、入院することと、入院していることを条件にしないことである。本年四月以降の利用は、四月が百十件、五月が三十九件の計百四十九

件である。

大木 四月、五月で計百四十九件の申請があったとのことだが、本市の国保被保険者数からいって少ない。将来に向けての広報活動の予定等は。

保健福祉部長 本年三月号の市広報でお知らせし、健康増進課窓口で説明と申請を促しているが、再度、広報やポスターで周知徹底を図っていきたい。

戦争を風化させぬため 平和行事の推進を

日本共産党 宝 覚 議員

答 事業展開できるように 努力する

宝 さきに日本が起こした十五年にわたる侵略戦争は、二千万人のアジア

人、千二百人の小松島市民の命を奪うなど無量の犠牲を出した。安倍首相



日峰山の防空壕跡



は憲法改定の目的が、海外で戦争する国づくりにあると説明。米軍とともに武力行使できるようにする研究機関も設置した。

国民の割く二割の賛成で改憲できる国民投票法が可決され、日本は平和の危機に直面している。今まで、戦力不保持などを規定する九条が平和を守ってきたが、改憲案では九条二項を削り、戦力保持が規定され、戦争する国に変わる。市には市民を戦争の犠牲にさせぬ責務がある。市長は国に九条改憲せぬよう求めるべきと考えるが。

市長 国民投票法は九



非核平和都市宣言の標柱

条改悪につながるものでないと考える。私も二度と戦争を起こしてはならないと思ふ。改憲は国政の議論の推移を注視する。

宝 終戦六十年に当たる平成十七年六月定例会において、戦争を風化させぬための三つの平和事業を提案した。その後の取り組みは。

市長 戦争体験語り部育成、戦跡調査、平和映画祭・原爆写真展の提案については、非核平和都市宣言の趣旨に即した事業展開ができるよう努力

したい。

乳幼児がいる世帯から 国保証取り上げるな

宝 小松島市が国民健康保険証を取り上げている世帯のほとんどが、年所得ゼロや百万円以下。法

で取り上げ除外の公費負担医療患者や重症患者からも、容赦なく取り上げ

ている。取り上げられて、受診を手控えたため、全国で二十一人が死亡している。取り上げ強行の福岡市は、国保税の収納率

が下がり、国保会計は赤字続き。逆に、生活困窮の滞納者に減免適用している名古屋市では、収納率が向上し、黒字だ。国保法の趣旨から(ア)羅病した人、(イ)重度障害者、(ウ)厚労省通知にある県費助成の七歳未満児を持つ世帯は、取り上げ除外とすべきだ。

保健福祉部長 (ア)手術や入院の場合には、改めて相談し対応する。(イ)除外している。(ウ)国保制度上の保険者負担分と性質が異なるため、除外しない。

宝 低所得者を対象とした国保税の減免制度導入を求める。収入が生活保護基準額より少ない世帯は減免すべきだ。

保健福祉部長 災害等特別な事情のない人への減免は困難。

宝 一九八四年、国保会計に対する国庫負担率が四五%から三八・五%に引き下げられた。国に復元するよう求めよ。

市長 引き上げは、全国市長会を通じ要望する。

四国横断自動車道 インターチェンジ新設を求める

みらいの会 池淵 彰 議員

答 必要性をあわせ、検討する

池淵 道路とは地域の発展を促し、核となる都市への広域的な経済、文化の形成の連携を図ることである。通勤圏域の拡大や、都市、農山村地域との連携の強化、また物資の流通、人の交流の活性化を促すために非常に重要である。

小松島市の地理的要素からも、新たに市南部へのインターチェンジの設置が、道路の機能をより高め、地域経済、文化交流の発展、充実につながるものと考えられる。市当局から国土交通省に向けて積極的に取り組んでいただきたい。この

点についてどのように考えているか。

産業建設部長 市内で開催された説明会において、市民の方から、インターチェンジの新設に関する御意見や要望が出されている。市としても、必要性を合わせ、検討をしていきたい。

池淵 今後、国土交通省がどのような取り組みをしていくかは、市当局の対応が一番だと考えている。市は市民、住民にとっての一番の接する窓口である。市が、県が、国がというような区割りは一切住民にはない。今後の四国横断自動車道の設



計に伴う協議をしつかりとしていただきたい。

四国横断自動車道に関する状況について

池淵 トンネル工事に伴う仮設道路の設置についての安全対策は。

産業建設部長 仮設道路により地域への排水への影響や、土砂を運搬する大型ダンプ等の通行に対する不安といった周辺環境に対する御意見をいただいている。特に工事用道路から搬出される土砂の運搬ルートについては、立江川左岸に新設された県道から、赤石トンネル

南側の国道五十五号線を通り、運搬する予定である。

市としては、仮設道路周辺に限らず、工事関係車両の通行する地域の環境が悪化することのないよう、地区の方々と十分協議し、対応するよう申し入れたい。

現計画の工法について

池淵 現計画の立江町中ノ坪、野神地区付近についてはどのような工法をプランニングされているのか。また、高速道路

が建設されることにより、既存の排水、治水、利水についても不安視をされている地元の方々がかなり多くいるので、その対策について伺いたい。

産業建設部長 経済性、防災性等の観点から、道路の構造は盛土を基本としている。盛土構造により、この地域が分断され、台風・大雨の際に浸水を示さないかとのことであるが、この地域排水は特に重要であると考えている。排水対策は、県とも協議しながら、高速道路ができることにより現状より悪くなることのないよ



四国横断自動車道(阿南～小松島間)

う、地元関係者と十分協議し、対応していきたい。

農業住宅団地跡地利用について

池淵 市道路線変更に伴う農業住宅団地跡地利用について、その売却の手法について現在、どのような方法で実施されているのか。

総務部長 今後の利用計画はないので、利活用のない土地については売却処分する。

売却の手法について公売に関する資料を市の広報「こまつしま」、徳島新聞の火曜日欄、市のホームページ等への掲載により周知をし、現地説明会を実施し、一般競争入札開催となる。

池淵 私からの提案として、現在国税庁においてもインターネットのオークション等で公売をなされているという経緯がある。ぜひとも本市においても運用を検討していただきたい。